

新しい糖尿病治療薬 (SGLT 2 阻害薬) について

朝霞地区医師会 みやの たつみ 宮野 龍美

☎464-4666

糖尿病は1型糖尿病と2型糖尿病の二つに大きく分けられます。1型糖尿病はすい臓でインスリンが全く作られないため、生存のためにインスリンの注射が欠かせません。一方2型糖尿病は、すい臓のインスリンを作る能力が残っているため、インスリン注射ではなく飲み薬での治療が可能なため、多くの飲み薬が使われています。現在、日本では薬の効き方の違いにより7種類の2型糖尿病の飲み薬が使われています。その中で最も新しいお薬であるSGLT2阻害薬について説明いたします。

SGLTとは sodium glucose cotransporter の略で、ナトリウム・グルコース共役輸送体と呼ばれるタンパク質の一種です。このタンパク質は体内でグルコース(ブドウ糖)とナトリウムを細胞内に取り込む役目をしています。SGLTには1と2があり、1は腸管や腎臓に、2は腎臓に局限して存在しています。糖尿病治療薬として開発されたのはこの2の働きを阻害するお薬です。それでは、このお薬がどのようにして血糖値を改善するのでしょうか？

腎臓は、血液中の老廃物を尿として体の外に排出する働きをしています。血液中のブドウ糖(血糖値のこと)は腎臓の糸球体というところを通過して一旦尿の中に排出されます。しかし、ブドウ糖は体にとつては重要なエネルギー源ですから、腎臓の中の尿管というところではほぼ100%再吸収され、健康な人では尿の中にブドウ糖が出て行かないようになっています。この再吸収の働きをしているのがSGLT1と2です。最初にSGLT2が糖の90%を再吸収し、残りの10%を1が再吸収しています。糖尿病になると血糖値が高くなりますから、糸球体を通りすぎるブドウ糖が増加します。そうなるとSGLTの働きが亢進し、糖の再吸収が大幅に増えるという現象が生じ、高血糖と糖の再吸収の亢進という悪循環が形成され、糖尿病の人の血糖値が下がりにくい一因となっています。

そこでこの亢進したSGLTの働きを阻害して、糖の再吸収を抑制し、尿糖となって体外に排出して血糖値を改善する薬として開発されたのがSGLT2阻害薬です。先ほど、SGLTには1と2があるとお話ししましたが、薬として開発されたのは腎臓にだけある2を選択的に阻害するお薬ですので、腸管にもある1には作用せず下痢などの副作用が抑えられています。このお薬は2型糖尿病の治療薬として開発されましたが、従来の多

くの糖尿病の飲み薬と違って体内のインスリンの働きとは関係なく血糖改善効果を発揮するので、最近一部のSGLT2阻害薬は1型糖尿病患者さんにも使用できるようになりました。

次に、このお薬を服用する時の注意点を話します。このお薬は効果の発現が速いのが特徴で、飲み始めたその日から1日に60〜100gの糖が尿に出ていきます。そして糖と一緒にナトリウムと水分も尿に出ていきますので、服用の初期には尿量や排尿回数が増えます。従ってこのお薬を飲む人には、脱水症予防のために1日に500mlくらいの水分を十分に飲むようお願いしています。また、血糖値も速やかに低下しますので、低血糖予防のためにそれまで服用していた血糖降下薬やインスリン注射の量を減量していただくこともあります。また尿糖が増えることによる尿路感染症や性器感染症にも注意が必要です。

最後に、このお薬には体重減少や血圧低下効果があり、発売後の大規模臨床試験により糖尿病患者さんに多い心血管病や腎臓病の予防効果も証明されつつあります。が、2型糖尿病治療の基本は、食事、運動による生活習慣の改善であることを忘れないでください。

わたくしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
10	6	朝霞	村山クリニック	内・循内	471-1636	新座	須田整形外科	整外・リウ・リハ・内	478-2688
	13	和光	田中医院	内	461-2060	朝霞	はまなか皮フ科クリニック	皮・アレ	476-1223
	14	朝霞	北朝霞駅前クリニック	内	486-6333	志木	かとう整形外科・リハビリテーション科	整外・リハ	486-3770
	20	新座	平山クリニック	内・小・アレ	480-0248	和光	佐々木眼科医院	眼	467-0071
	22	朝霞	富岡医院	内・循内・小	461-7581	朝霞	なおあきクリニック	泌・腎内	467-7140
	27	新座	遠山荘一郎内科クリニック	内	480-3737	和光	和光内科外科診療所	内・外・皮・小・リハ	466-2235



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。